



フカツのミライ

高根沢町教育委員会事務局生涯学習課
Tel 028-675-3175
Fax 028-675-3173
Email syougai@town.takanezawa.tochigi.jp

部活動の 地域移行 とは？

- ・中学校の部活動が学校単位ではなく、地域クラブ活動として地域で実施するものです。スポーツ庁・文化庁では、令和7年度までに地域移行を達成するという明確な年限は設定せず、令和5年度から7年度までを「改革推進期間」として設定し、休日の部活動について、各地域の実情に応じて、可能な限り早期に地域連携・地域移行の実現を目指すとしています。

地域移行は なぜ必要？

- ・次のようなことが、全国では起こっています。
- ・少子化により、部員数が減少し、団体戦に出られない、練習試合ができないなど、満足のいく活動ができない。休部や廃部もある。
- ・やってみたい部活が学校にはなかったが、近くの学校にはあった。
- ・競技経験や指導経験のない教職員が指導している場合があり、専門的な指導を受けられない。
- ・部活動指導による残業時間について、働き方改革が求められている。
- ・色々なスポーツや文化を体験してみたいが、学校は1つの部活に限られてしまっている。
- ・引退後、進学まで続けられる場所がない。
- ・そこで、成長期で多感な中学生が、多様な活動を体験できる機会や、将来にわたりスポーツや文化活動に継続できる機会を確保するために、地域移行を進めます。

地域移行の 課題は？

- ・スポーツ庁では、次のように分類しています。
- ・スポーツ団体等の整備充実（例：クラブを運営する責任者や体制が整わない。）
- ・スポーツ指導者の質・量の確保（例：年間を通じて来てくれる指導者が見つからない。）
- ・スポーツ施設の確保方策（例：地域で活動する場所がない。施設使用料が発生する。）
- ・大会の在り方（例：中体連の大会に出られない。）
- ・会費の在り方（例：会費が発生する。高い会費では参加できない。）
- ・保険の在り方（例：新しく保険に入らなければならない。）

部活が なくなるの？

- ・休日の地域移行とのことなので、すぐに中学校の部活動がなくなるということではなく、当面は部活動と地域クラブが併存していきます。

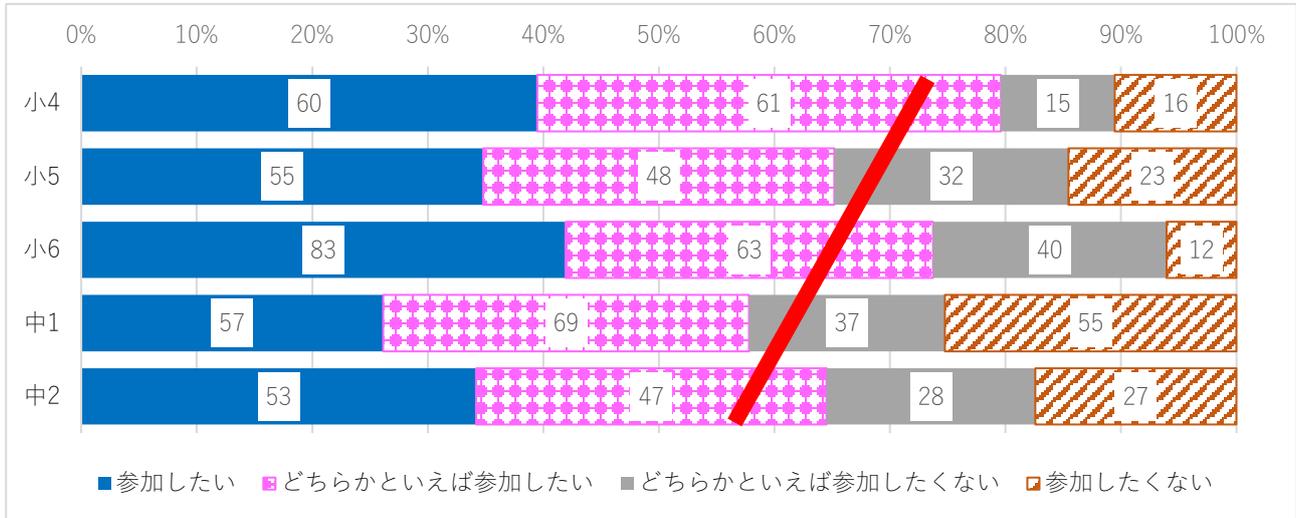
町のこれまでの 取り組み は？

- ・平成31(2019)年3月 「高根沢町中学校部活動の在り方に関する方針」発表
- ・令和6(2024)年3月 高根沢町における休日の中学校部活動の地域移行に関するアンケート調査
- ・ // 4月 会計年度任用職員採用（部活動地域移行担当）
- ・ // 6月 アンケート分析結果発表
- ・ // 11月 第1回部活動地域移行推進委員会(教育長より諮問)
- ・令和7(2025)年1月 第2回部活動地域移行推進委員会

アンケート分析結果

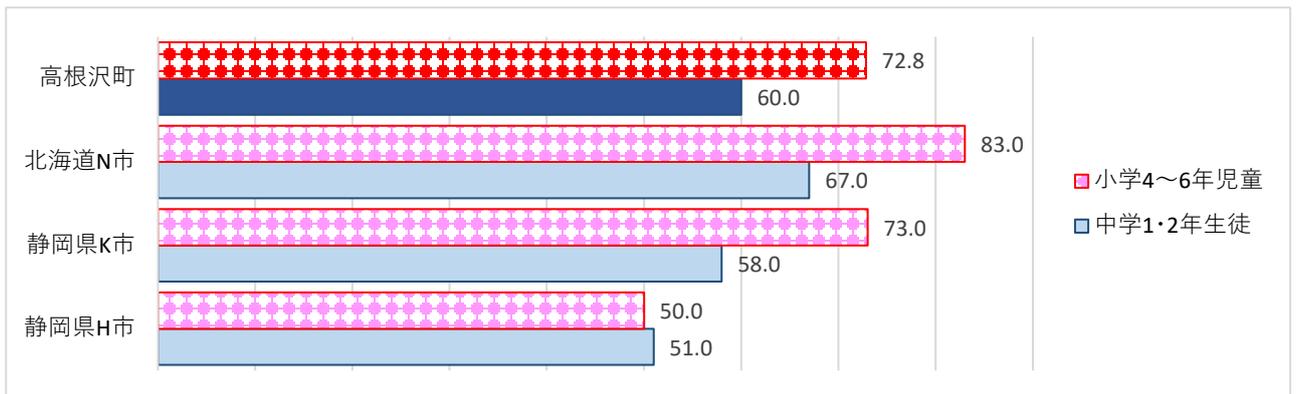
R6(2024)年3月調査

児童生徒の参加希望 (質問:部活動の休日の活動が地域に移行した場合、あなたは休日の部活動に参加したいですか。)



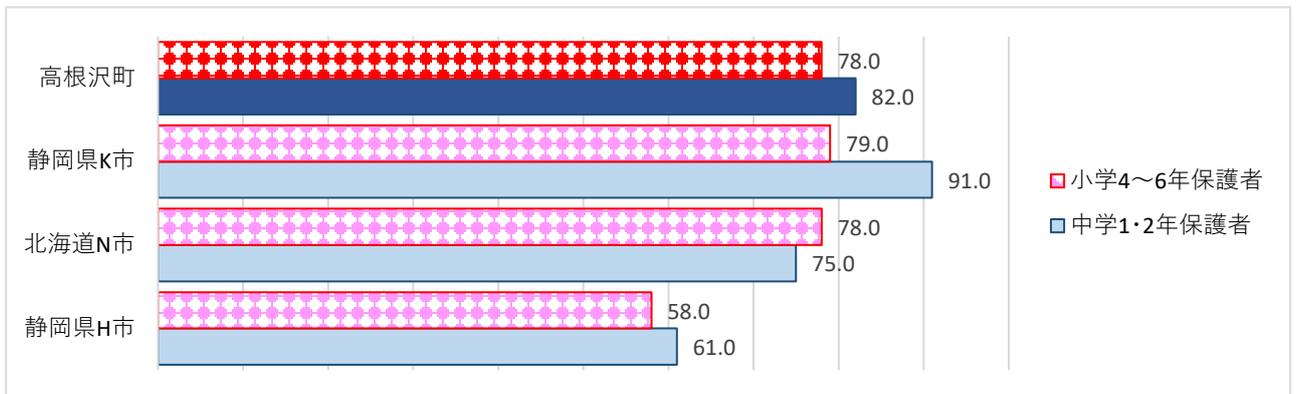
上のようならばつきでしたが、カイニ乗検定では相関がありました。児童生徒さんの希望は、学年が上がるにつれて、休日の部活動に参加したい割合が減っています。

休日の部活動を地域で行うことに対する肯定群(%) 質問対象：児童生徒



まったく同じ質問ではありませんが、他市と比べて本町は、肯定している割合に著しい差はありませんでした。本町も含めて、中学生よりも小学生の方が、肯定している割合が高い市が多いです。

休日の部活動を地域で行うことに対する肯定群(%) 質問対象：保護者



まったく同じ質問ではありませんが、小学生の保護者も中学生の保護者も、休日の地域移行を肯定している割合が、他市と比べて著しい差はありませんでした。